（様式１）

**研究倫理審査申請書**

令和　　年　　月　　日

学校法人日本社会事業大学

　社会事業研究所長　　　　　　　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請責任者　所属・職名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　新規　変更　継続

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 研究期間 | 申請課題の研究期間：令和　　年　　月　から　令和　　年　　月全体の研究期間：　　令和　　年　　月　から　令和　　年　　月（全体の研究期間とは、学位論文終了まで、研究費受託終了までの期間） |
| 審査対象 | 研究計画　　その他 |
| 申請者以外の研究参加者 | （所属・職名・氏名） |
| 研究費 | １）外部申請助成研究（助成元団体名称及び研究代表者：　　　　　　　　　）２）外部委託研究（委託元団体等名称及び研究代表者：　　 　　　　　　）３）学内共同研究（研究代表者　　　　　　　　　）４）個人研究費（　教員研究費　私費　）５）その他 |
| 研究組織　体制(共同研究の場合) | 研究分担者氏名・所属・役割分担・承諾の有無 |
| 利益相反 | 本学以外の所属機関（勤務先等）または所属機関以外の機関（当該研究に関係のある団体等）との利益相反の有無① 経済的な利益関係（給与・報酬等の授受）　□なし　　□あり② 研究資金の供与　　　　　　　　　　　　　□なし　　□あり③ 研究実施に伴う機器・設備等の供与　　　　□なし　　□あり④ 研究のための役務提供　　　　　　　　　　□なし　　□あり⑤ 個人的利益相反関係にある研究者　　　　　□なし　　□あり⑥ その他（上記①～⑤以外の利益相反）　　　□なし　　□あり→①～⑥の何れかが「あり」の場合、その状況と具体的な内容 |
| 指導教員(指導対象に☑) | （所属・職名）（氏名　　　　　　印）□博士論文　□修士論文　□実践課題研究　□その他（　　　　　　　　　） |
| 研究の種類 | １）臨床研究２）調査研究３）既存資料・記録等に基づく研究４）その他　　　　　　　　　　　　　　　　　　注）欄外の用語の定義を参照 |
| 研究の目的・意義 | （研究によって期待される成果も具体的に） |
| 研究対象 | １）利用者　　２）一般市民　　３）福祉従事者　　４）福祉施設・団体５）その他　 |
| （対象選定の方法） |
| （研究者の所属組織が対象となる場合）研究者の立場性(例；職員、施設長など)・調査協力者との関係性・調査における合意事項等 |
| （調査協力者への謝礼等□なし □あり　→「あり」の場合　１）(金額　　　　　　　　　　）　２）社会事業研究所の規定による基準額 |
| 研究・調査の方法 | （具体的に） |
| 研究・調査に対する説明及び同意 | （説明及び同意を得る方法を具体的に。なお、説明文・同意文書があれば添付すること） |
| 研究上予測される危害または不利益 | 身体的危害・不利益（①　あり　　②　可能性あり　　③　なし（あるとしてもごく軽微）） |
| 心理的危害・不利益（①　あり　　②　可能性あり　　③　なし（あるとしてもごく軽微）） |
| 社会的不利益　　　（①　あり　　②　可能性あり　　③　なし（あるとしてもごく軽微）） |
| （予測される危害・不利益の内容、または「なし」と判断する根拠） |
| （予測される危害・不利益を防止軽減するための配慮） |
| （万一危害・不利益が生じた場合の対応・方策） |
| プライバシー保護 | （公表にあたっての匿名化の方法） |
| 名簿、データ等の管理 | （名簿、データ等の保存管理）（保管場所・方法・期間）（廃棄の方法等）（データの共有範囲） |

　「研究の種類」に関する用語の定義

　１）臨床研究

　　　特定の人に対して身体的心理的に直接介入を伴う研究をいう。

　　　・高齢者の新しい介助方法の実験を試みる研究

　　　・子どもの遊びの新しいプログラムを試みる研究

　　　・子どもや成人の心理検査

　　　・カウンセリングの新しい介入方法の研究　等

　２）調査研究

 特定の人に対する聞き取り調査、質問紙調査、あるいは観察などにより個人や集団に　　　　関する情報を収集分析する研究をいう。

　３）既存資料・記録等に基づく研究

　　　ケース記録、団体の運営活動記録等を収集分析する研究をいう。

　４）その他

　　　上記に該当しないが、倫理的問題を生じるおそれのある研究。